

公益社団法人 地盤工学会
四国支部

平成 26 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 26 年 4 月 25 日（金）

会 場：高松テルサ 大会議室

（高松市屋島西町 2366-1）

目 次

特別会員表彰

永年にわたる正会員への感謝状贈呈（贈呈済）

第1号議案 平成25年度 支部事業報告(案) 1

第2号議案 平成25年度 支部収支決算報告(案) 15

第3号議案 平成26年度 支部役員(案) 19

第4号議案 平成26年度 支部事業計画(報告) 23

第5号議案 平成26年度 支部収支予算(報告) 29

【参考資料】 平成26年度以降の事業予定等 31

四国支部規程 32

特別会員表彰

四電エンジニアリング株式会社 4級 (10年以上)

株式会社ダイソク 4級 (10年以上)

計 2社

以 上

永年にわたる正会員への感謝状贈呈 (贈呈済)

三宅 毅 富士興業 (株)

計 1名

以 上

第 1 号議案 平成 2 5 年度 支部事業報告(案)

平成25年度 支部事業報告（案）

1. 総会、役員会等

(1) 支部総会

第1回 平成25年4月24日（水）16:00～17:00 高松テルサ（高松市）

- ① 平成24年度 特別表彰 四国支部賞受賞（者）表彰
- ② 平成24年度 支部事業報告
- ③ 平成24年度 支部収支決算報告、監査報告
- ④ 平成25年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成25年度 支部事業計画（案）
- ⑥ 平成25年度 支部収支予算（案）

(2) 評議員会

第1回 平成25年4月24日（水）14:30～15:40 高松テルサ（高松市）

- ① 平成25年度 支部役員（案）
- ② 平成24年度 支部事業報告（案）
- ③ 平成24年度 支部収支決算報告、監査報告（案）
- ④ 平成24年度 特別表彰 永年正会員感謝状 四国支部賞
- ⑤ 平成25年度 支部事業計画
- ⑥ 平成25年度 支部収支予算

第2回 平成25年11月12日（火）～19日（火）メール審議

- ① 支部技術研究発表会表彰規定の改定について

第3回 平成26年2月12日（水）15:45～17:00 高松テルサ（高松市）

- ① 平成26年度 支部役員（案）
- ② 平成26年度 支部事業計画（案）
- ③ 平成26年度 支部収支予算（案）
- ④ 平成25年度 支部事業報告
- ⑤ 平成25年度 支部決算見込み報告
- ⑥ その他

(3) 幹事会

第1回 平成25年6月20日(木) (当日に大雨警戒警報発令のためメール審議)

- ①平成25年度事業計画
- ②各幹事からの報告等

第2回 平成25年11月5日(火) 13:30~15:00 サンポートホール高松(高松市)

- ①支部技術研究発表会表彰規程の改定
- ①事業実施報告および実施計画
- ②各幹事からの報告等

第3回 平成26年2月12日(水) 13:30~15:00 高松テルサ(高松市)

- ①平成25年度 支部事業・決算見込みの報告
- ②平成26年度 支部事業計画・収支予算の審議

2. 支部主催事業

(1) 平成25年度学術講演会(土木学会四国支部と主催) 担当: 愛媛大学

日時: 平成25年8月9日(金) 15:00~17:00

場所: 愛媛大学メディアホール メディアセンター

演題: 工学者が発展途上国の貧困削減に取り組む〜「土のう」による住民との道直し〜

京都大学大学院 教授 木村 亮氏

参加者数: 62名(学生含む)

主催: 公益社団法人地盤工学会四国支部, 公益社団法人土木学会四国支部

(2) 平成25年度「地盤調査の方法と解説」講習会 担当: 四国地方整備局

日時: 平成25年9月19日(木) 13:30~17:00

場所: 香川大学工学部3号館3301講義室

内容: 地盤調査の方法と解説講習会

- ①主な改訂の説明, 物理探査・検層, ボーリング, サンプルング

防衛大学校 准教授 正垣孝晴氏

- ②サウンディング

大阪市立大学大学院 教授 大島昭彦氏

参加者数: 71名

共催: 香川大学工学部

後援: 公益社団法人土木学会四国支部, 公益社団法人日本地すべり学会関西支部,

一般社団法人日本応用地質学会中国四国支部, 一般社団法人日本建築学会四国支部,

四国地質調査業協会, 一般社団法人全国測量設計業協会連合会四国地区協議会,

(3) 技術研究発表会 担当：高知大学

日時：平成 25 年 11 月 21 日（木）

9：00～16：00 研究発表会

16:00～17:10 特別講演会「今、なぜ龍馬か？」龍馬記念館館長 森健志郎氏

18：00～21：00 交流会

平成 25 年 11 月 22 日（金）

9：00～12:00 研究発表会

場所：桂浜荘

優秀発表者：

セッション 1：菊池紗帆（愛媛大学大学院）

セッション 2：宮脇史恭（香川高等専門学校）

セッション 2：三村佳織（兼松日産農林（株））

セッション 3：畑山諒人（高知大学大学院）

セッション 4：栗林健太郎（（株）エイト日本技術開発）

セッション 4：中根久幸（（株）地研）

セッション 5：山本定雄（応用地質（株））

セッション 6：尾川七瀬（（株）技研製作所）

<セッション 1> 地盤材料（座長：岡林宏二郎）

1. 四国太平洋沿岸における津波堆積物調査

○木下博久（復建調査設計(株)）、藤本耕次、松木宏彰、池田哲哉、渡邊 聡、上田 誠

2. 高松市屋島に堆積する表層土の土質特性について

○西脇大祐（香川大学工学部）、山中 稔、長谷川修一

3. 熱・水・応力履歴を受けた堆積岩の微視構造観察

○菊池紗帆（愛媛大学大学院）、安原英明、木下尚樹

4. Effect of discontinued shearing on residual strength of clayey soil materials

○Deepak R. Bhat（愛媛大学大学院）、ネトラ P.バンダリ、矢田部龍一

5. 庵治石採石ブリの建設資材への活用に向けた基礎的検討

○山中 稔（香川大学工学部）、長谷川修一、小竹 望（香川高等専門学校）、向谷光彦

6. 静電容量式空洞センサの塩分濃度の影響

○上中正好（徳島大学）、野々垣遙也、上野勝利、内藤恵太

7. 花崗岩不連続面の変形挙動に与える熱・水・応力の影響

○崎山久美子（愛媛大学大学院）、木下尚樹、安原英明

<セッション 2> 地盤と構造物、物理探査（座長：石原行博）

8. 高知平野の地盤特性

○刈谷秋人（（株）第一コンサルタンツ）、中村和弘

9. 地盤の安定問題に用いる土のせん断強度定数について

○兵頭 学 ((株)第一コンサルタンツ), 右城 猛

10. 繊維材質と寸法が繊維補強固化処理土の靱性向上効果に与える影響

○宮脇史恭 (香川高等専門学校), 小竹 望, 伊藤 勉

11. 再生石膏固化材を用いた固化土の再泥化

○濱田和綺 (香川高等専門学校), 小竹 望, 宮脇史恭

12. 軟軟弱粘性土における木杭の支持力機構について

○三村佳織 (兼松日産農林(株)), 水谷羊介, 中村 博, 原 忠 (高知大学),
沼田淳紀 (飛島建設(株)), 吉田雅穂 (福井工業高等専門学校)

13. 谷埋め盛土の地盤物性と耐震照査

○市橋義治 ((株)相愛), 常川善弘, 原 忠 (高知大学), 畑山諒人

14. 二重鋼矢板堤防における格子隔壁の効果の実証を目的とした現場計測について

○岡田浩一 ((株)技研製作所), 猪俣健輔, 安岡博之, 石原行博

15. 山地が迫る海岸平野の常時微動 H/V スペクトルの特徴

○北村暢章 (高知大学), 原 忠, 山田雅行 ((株)ニュージェック), 竹澤請一郎,
八木 悟, 羽田浩二 (香南市役所), 山崎正明 (中土佐町役場)

16. 補強土擁壁の3次元有限要素法によるシミュレーション解析

○濱村一平 (高知工業高等専門学校), 岡林宏二郎, 土居翔太

<セッション3> 地盤防災① (現地調査・室内試験・模型実験・予測) (座長: 渦岡良介)

17. 東北地方太平洋沖地震で液状化した浦安埋立土の動的特性

○坂部晃子 (高知大学), 原 忠, 畑山諒人, 沼田淳紀 (飛島建設(株)),
三村佳織 (兼松日産農林(株))

18. 内部間隙水圧計による繰返し非排水三軸試験の試み

○畑山諒人 (高知大学), 原 忠, 李 圭太 ((株)建設技術研究所),
岡嶋義行, 岡林福好 (国土交通省四国地方整備局)

19. 薄い砂層の液状化発生に及ぼす加振履歴と排水の影響

○林秀太朗 (愛媛大学大学院), 岡村未対, 陣内尚子

20. ケーソン式防波堤マウンドのせん断特性に関する考察

○山崎直哉 (高知大学), 原 忠, 畑山諒人, 坂部晃子,
ハザリカ・ヘマンタ (九州大学), 門司直也

21. 軟弱地盤上の河川堤防の水分・応力状態に与える幾何形状の影響

○黒木孝洋 (徳島大学), 下河太一, 居上靖弘, 渦岡良介, 上野勝利, 鈴木 壽

22. Numerical analysis of seismic behavior of residential building on liquefiable foundation soil

○Narayan Marasini (愛媛大学大学院), 岡村未対, 陣内尚子, Kai Sing Peng

23. A simple method to estimate maximum settlement of river dike on liquefiable soil

○Tamia Triandini (愛媛大学大学院), 岡村未対, 陣内尚子

24. 徳島平野における液状化に対する危険度の予測

○兼子尚也 (徳島大学), 吉田直央, 渦岡良介, 鈴木 壽, 上野勝利,
石川裕規 (ニタコンサルタント(株))

25. 南海トラフ巨大地震を想定した南国市の液状化判定

○森田頌康（高知工業高等専門学校）、岡林宏二郎、澤田弥生

＜セッション4＞ 地盤防災②（数値解析）（座長：原 忠）

26. 2011 年東北地方太平洋沖地震で被災を受けた河川堤防の液状化シミュレーション

○嶋本栄治（(株)第一コンサルタンツ）、中根久幸（(株)地研）、
黒田修一（(株)エイト日本技術開発）、常川義弘（相愛）、原 忠（高知大学）、
岡林宏二郎（高知工業高等専門学校）

27. 北上川橋浦地区の河川堤防の液状化解析事例

○石川裕規（ニタコンサルタンツ(株)）、齋藤 和（(株)四電技術コンサルタント）、
中川煩将（(株)基礎建設コンサルタント）、渦岡良介（徳島大学）

28. 2011 年東北地方太平洋沖地震で被災を受けた河川堤防の築堤材料についての一考察

○中根久幸（(株)地研）、嶋本栄治（(株)第一コンサルタンツ）、常川義弘（(株)相愛）、
黒田修一（(株)エイト日本技術開発）、中島 昇（(株)地研）、
石川裕規（ニタコンサルタンツ(株)）、原 忠（高知大学）、岡林宏二郎（高知高専）

29. 余震履歴を考慮した河川堤防の液状化挙動に関する一考察

○栗林健太郎（(株)エイト日本技術開発）、黒田修一、原 忠（高知大学）、
坂部晃子（高知大学大学院）、古市秀雄（(株)技研製作所）、
Hazarika Hemanta（九州大学）

30. 継続時間の長い強震動に対する変形予測における土の構成モデルの適用性

○大隅俊陽（徳島大学大学院）、坪井仙一、渦岡良介、鈴木 壽、上野勝利

31. 三次元液状化解析による過剰間隙水圧消散工法の効果検証

○孫韶華（徳島大学大学院）、向井健次郎、渦岡良介、
海野敏康（DEPP 工法）、大野康年

32. ため池堤体の ALID による動的変形量の解析事例

○実井琢哉（香川大学工学部）、山中 稔、長谷川修一

33. 南海トラフ巨大地震を想定した「八王子給水タンク」の地震応答解析

○澤田弥生（高知工業高等専門学校）、徳久貴和、岡林宏二郎、中根久幸（(株)地研）

34. 防災拠点漁港岸壁の液状化対策に関する研究

○徳久貴和（高知工業高等専門学校）、岡林宏二郎、土居翔太

＜セッション5＞ 斜面安定（現地調査・計測・解析・モニタリング・対策工）（座長：蔣 景彩）

35. 溪流の谷密度と土砂災害発生時の雨量指標 R' との関係

○大江賢太（香川大学工学部）、長谷川修一、川瀬 徹（三重県庁）、
中井真司（(株)復建調査設計）、野々村敦子（香川大学工学部）

36. 地震による深層崩壊危険斜面分布図の試作—受け盤斜面と流れ盤斜面の比較—

○鏡原和也（香川大学工学部）、長谷川修一、野々村敦子、
紙田直充（西日本高速道路(株)）、内田純二

37. 高松平野と丸亀平野における伏在活断層の検討

○長谷川修一（香川大学工学部），藪内美紀（四国旅客鉄道(株)），
野々村敦子（香川大学工学部）

38. DEM を用いた深層崩壊危険箇所抽出手法の検討

○野々村敦子（香川大学工学部），長谷川修一

39. 切土面観察によるのり面施工時の安定性評価事例

○山本定雄（応用地質(株)四国支社），竹澤悠人

40. 落石対策工の最適設計手法について

○奥村昌史（(株)第一コンサルタンツ），中村和弘，西川 徹

41. 層状岩盤における切土のり面変状要因について

○内田純二（西日本高速道路(株)），富田雄一，和田信良

42. Application of GISbased Fuzzy Overlay Approach for Landslide Susceptibility Mapping in
Selelkula area, Jema River Gorge, Central Ethiopia

○Matebie Meten（愛媛大学大学院），ネトラ P. バンダリ，矢田部龍一

43. グラウンドアンカー工の維持管理における健全性調査事例について

○常川善弘（(株)相愛），市橋義治，弘田朋志，東 豊一

44. 受圧板を用いた地山補強土工法における被覆率の影響

○角野 充（香川高等専門学校），濱口竜一，小竹 望，沓澤 武(日本基礎技術(株))

45. SAAM ジャッキを用いて判明してきたアンカー法面の現状と課題

○山本亮輔（(株)地研），常川善弘（(株)相愛），酒井俊典（三重大学大学院）

46. Preparation and replication of a deterministic slope failure hazard model in small catchments

○Kiran Prasad Acharya（愛媛大学大学院），ネトラ P. バンダリ，矢田部龍一

<セッション6> 地盤調査，地盤環境，防災対策（座長：山中 稔）

47. 水平載荷模型試験によるハイスピード工法の水平力検証

○小串隼人（ハイスピードコーポレーション(株)），堀田 誠

48. SWS 試験機を利用したサンプリング法

○木戸崇之（ハイスピードコーポレーション(株)），堀田 誠，山内聖児

49. オーガ併用圧入時の PPT データを利用した N 値の推定

○尾川七瀬（(株)技研製作所），岡田浩一，石原行博

50. 南海トラフ巨大地震により高松市沿岸域から発生する津波災害廃棄物量の推定

○豊田尚也（香川大学工学部），山中 稔，野々村敦子，長谷川修一

51. 東日本大震災の被災者の実態と宅地被害

○山下祐一（愛媛大学）

52. 海岸段丘の急傾斜地が近接した地域における津波避難計画の策定

○山内佐恵（(株)第一コンサルタンツ），松本洋一

53. 社会人再教育計画について

○村岡治道（愛媛大学防災情報研究センター），吉井稔雄，山下祐一，矢田部龍一

発表者：53 名

聴講者：37 名

(4) 現場見学会 担当：高知大学

主催：公益社団法人 地盤工学会四国支部

日時：2013 年 11 月 22 日(金) 13:00～16:00

現場見学：高知県土佐市 国土交通省直轄高知海岸新居工区 海岸堤防
(耐震・液状化対策工事現場)

酒蔵見学：高知県土佐市出間 2123-1 亀泉酒造

参加者：40 人

3. 各県地盤工学会研究会

(1) 徳島県地盤工学会研究会

1) 平成 25 年度 徳島県地盤工学会研究会 第 1 回特別講演会 (主催)

日時：平成 25 年 7 月 8 日 (月) 15:30～17:00

場所：徳島大学 工業会館 メモリアルホール

内容：ICT を活用した地盤技術の新たな展開 防衛大学校 宮田喜壽 教授

参加者：28 名，学生 20 名，合計 48 名

2) 第 1 回徳島地区幹事会 (主催)

日時：平成 25 年 5 月 15 日 (水) 16:00～17:00

場所：徳島大学工学部建設工学科 5F セミナー室 (A508 号室)

議題：徳島県地盤工学会研究会の事業計画ほか

3) 浸透流解析に関する勉強会 (主催)

日時：平成 25 年 9 月 14 日 (土) 13:00～17:00

場所：徳島大学工学部建設工学科

内容：実務における浸透流解析

講師：石川 裕規 (ニタコンサルタント(株))

参加者：社会人 7 名、学生 2 名、合計 9 名

4) 現場見学会 (主催)

日時：平成 25 年 12 月 19 日 (木) 14:40～15:45

場所：徳島県鳴門市撫養町大桑島地先

国交省撫養港海岸直轄海岸保全施設整備事業 海岸堤防 (耐震・液状化対策工事現場)

参加者：社会人 7 名、学生 3 名、合計 10 名

5) 平成 25 年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム (主催)

日時：平成 26 年 1 月 31 日 (金) 13:00～18:00

場所：徳島大学 工業会館 メモリアルホール

特別講演1：本県における社会資本整備の現状と課題

徳島県 県土整備部建設管理課 戸根秀孝 課長

特別講演2：津波対策に関するいくつかの話題～わからないことを，わからないなりに～

広島大学 大学院工学研究院 社会環境空間部門 一井康二 准教授

一般技術発表：9編

参加者：社会人43名、学生4名、合計47名

(2) 香川県地盤工学会

1) 第1回学術講演会「アジアの地盤工学の最前線」(主催)

日時：平成25年5月30日(木) 14:40～18:00

場所：香川大学工学部 3301 講義室

内容：①中国東北部・黒竜江省における地盤工学的な課題

香川高等専門学校建設環境工学科 准教授 向谷光彦氏

②Geo-Disaster and Its Mitigation in Nepal

トリブバン大学地質学科 准教授 Ranjan Kumar Dahal 氏

参加者：18名

2) セミナー「実践的な原位置透水試験法(入門コース)」(共催)

日時：平成25年9月27日(金) 9:30～16:30

場所：香川高等専門学校 高松キャンパス

内容：①室内モデル地盤における原位置透水試験の実施

②屋外における原位置透水試験の実施

③表計算ソフトを用いたデータ解釈，演習

④定水位透水試験装置の概要と基本操作

参加者：13名

主催：香川高等専門学校，(公財)かがわ産業支援財団

3) ため池堤体土の土質物性に関する勉強会 第1回勉強会(主催)

日時：平成25年10月3日(木) 15:00～17:00

場所：香川大学工学部 6306 多目的室

内容：ため池堤体の土質物性評価の基本的考え方 香川大学工学部 山中 稔
(三軸圧縮試験結果の解釈を中心にして)

参加者：30名

4) 公開講座「現場ですぐに役立つ原位置透水試験法」(共催)

日時：平成26年1月17日(金) 13:00～16:30

場所：香川高等専門学校 高松キャンパス

内容：①原位置透水試験の原理と概要の説明

②屋外における原位置透水試験の実施

③表計算ソフトを用いたデータ解釈，演習

参加者：11名

主催：香川高等専門学校

5) 見学会「かがわ地域遺産を巡る防災サロン～技術者の先輩と満濃池・豊稔池を訪ねて」(共催)

日時：平成26年2月22日(土) 9:30～16:30

場所：満濃池，豊稔池，道の駅たからだの里さいた

参加者：31名

主催：土木学会四国支部香川地区，香川高等専門学校

共催：地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会，たかまつ土木女子の会

6) ため池堤体土の土質物性に関する勉強会 第2回勉強会(主催)

日時：平成26年2月26日(水) 13:30～17:00

場所：青葉工業(株)土質実験室

内容：三軸圧縮試験の研修

①不攪乱試料の状態の見方，成形および供試体セットの方法

②圧密終了後の飽和度の確認

③せん断過程の応力変化

参加者：10名

7) 第2回学術講演会「巨大災害への備え」(主催)

日時：平成26年3月14日(金) 14:00～17:00

場所：香川国際交流会館(アイパル香川) 3F

内容：①東日本大震災による災害廃棄物処理等について

香川大学工学部 山中 稔， 香川高専 小竹 望

②多様な火山噴火災害と防災対策の課題

一般財団法人砂防・地すべり技術センター 理事・技術研究所長 安養寺信夫

参加者：11名

8) 学術交流会(共催)

第1回技術交流会

日時：平成26年1月31日(金) 午後

場所：香川高専専攻科棟

第2回技術交流会

日時：平成26年2月20日(木) 午後

場所：香川高専専攻科棟
主催：香川高等専門学校

(3) 高知県地盤工学会

1) 平成25年度高知県地盤工学会 第1回幹事会

日時：平成25年4月17日(水) 18:00 ～

場所：高知大学物部キャンパス

議題： 1.平成25年度高知県地盤工学会役員について
2.平成24年度高知県地盤工学会会計報告
3.平成24年度高知県地盤工学会会計報告
4.平成25年度高知県地盤工学会事業計画

2) 第33回高知県地盤工学会(講演会)

日時：平成25 年7 月6 日（土） 14:00～16:35

場所：高知大学朝倉キャンパス メディアの森6F メディアホール

参加費：1,000 円(テキスト代)

参加者：54 名(内会員15 名)

プログラム：(CPD 単位 2.5)

①「西南日本沿岸湖沼に記録された過去6000 年間巨大津波堆積物

— 成果、これからの発展と問題点 —」

高知大学 岡村 眞 特任教授

②「南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測および被害想定について」

高知県南海地震対策課 堀田幸雄 課長

3) 第1回高知県地盤工学会「若手の会」(講演会) (主催)

日時：平成25 年8 月23 日（金） 18:00～20:00

場所：高知城ホール2階中会議室

参加費：無料

内容：①落石対策について

(株) 第一コンサルタンツ 奥村昌史

②岩盤ボーリングのコア採取技術について

応用地質(株)高知支店 山本定雄

参加者：26 名（内会員9 名）

4) 第2回高知県地盤工学会「若手の会」 (主催)

内容：四国支部研究発表会に向けてのプレ発表会

日時：11月11日(月) 13:00～16:00

場所：高知大学物部キャンパス

参加者：15 名

5) 平成25年度 技術研修会「地震と斜面災害」(共催)

日時：平成25年11月26日(火)

場所：サンピアシリーズ(高知市高須砂地155)

内容：①地震による斜面災害の実態とその特徴

(社)地すべり学会会長 弘前大学 農学生命科学部 教授 桧垣 大助

②斜面安定度評価の現状」

国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室
研究官 野村 康裕

③主要道路の防災対策について」

高知県中央西土木事務所 道路建設課 道路第三班 班長 山下 智

④質疑応答・意見交換

コーディネーター 高知大学農学部 教授 笹原 克夫

主催：四国地質調査業協会 高知支部

参加者：102 名

6) 第34回(平成25年度) 高知県地盤工学会 現地見学会 (主催)

日時：平成26 年3月19日(水)

見学場所：高知新居海岸

内容：現在施工中である耐震・液状化対策現場の見学

参加者：22名

7) 平成25年度高知県地盤工学会 第2回幹事会 (主催)

日時：平成26年3月19日(水) 17:00~19:00

場所：高知大学農学部物部キャンパス内

議題：①平成25年度高知県地盤工学会事業報告

②平成25年度高知県地盤工学会会計報告

③平成 26 年度高知県地盤工学会事業計画

(4) 愛媛県地盤工学会

1) 市民向け講演会「インドネシアと日本の懸け橋として」(共催)

日時：平成 25 年 4 月 12 日(金) 14:00~16:00

場所：愛媛大学産学連携推進機構 2 階研修室

内容：「インドネシアと日本の懸け橋として」

元愛媛大学留学生(現インドネシア補助工業) シギト・ウィドド 先生

参加数：52 名

主催：愛媛大学防災情報研究センター

2) 2013 年淡路島地震調査速報会（共催）

日時：平成 25 年 4 月 18 日(木) 15:30～17:00

場所：愛媛大学総合情報メディアセンター メディアホール

内容：「2013 年淡路島地震調査報告会」

講師：愛媛大学大学院理工学研究科 准教授 森 伸一郎

参加数：100 名

主催：愛媛大学防災情報研究センター

3) 市民向け講演会「愛媛大学と JICA が繋ぐ日本とホンジュラス、そして日本とネパール」（共催）

日時：平成 25 年 4 月 19 日(金) 15:00-16:30

場所：愛媛大学産学連携推進機構 2 階研修室

内容：①JICA シニアボランティアが見たホンジュラスの地すべり防災

愛媛大学防災情報研究センター客員教授 廣田清治

②ネパールと日本の懸け橋としての元愛媛大学留学生と元 JICA 研修生の活動

General Secretary JICA Alumni Association of Nepal Dr. Ram Chandra Bhusal

参加数：52 名

主催：愛媛大学防災情報研究センター

4) 特別講演会「持続可能で革新的な地盤災害対策方法に向けて」（主催）

日時：平成 25 年 5 月 9 日(木) 11:00～12:30

場所：愛媛大学 産学連携推進機構 2 階研修室

内容：Towards Novel, Resilient and Sustainable Geohazard Mitigation Measure

（持続可能で革新的なかつ粘り強い地盤災害対策方法に向けて）」

九州大学工学部地球環境工学科 Hazarika Hemanta 教授

参加数：40 名

5) 日本内外の斜面災害に関する特別講演会（後援）

日時：平成 25 年 6 月 25 日(火) 14:00～15:35

場所：愛媛大学社会連携推進機構 2 階 研修室

内容：①Geo-disaster Research Progress in Nepal and Regional Scale GIS Approach
to Landslide Hazard Assessment

ネパール国立トリブバン大学准教授 Dahal Ranjan Kumar

（愛媛大学 JSPS 外国人特別研究員，防災情報研究センター客員准教授）

②降雨と地震による斜面災害を予測する

香川大学工学部教授 長谷川修一

参加者：34 名

主催：愛媛大学防災情報研究センター

6) 学術講演会「シンガポール軟弱地盤の埋め立てと土地利用」(主催)

日時：25年7月12日(金) 14:00～15:00

場所：愛媛大学工学部講義棟 EL12

内容：シンガポール軟弱地盤の埋め立てと土地利用

講師：国立シンガポール大学 教授 C F Leung 先生

参加者：40名

7) ネパールにて地盤防災に関するシンポジウム(共催)

地盤防災に関する国際シンポジウム・ヒマラヤ環境に関する講演会・セミナー

日程：10月22日(火) 地盤防災に関する国際シンポジウム(カトマンズ)

10月23日(水) カトマンズ～ポカラ道路周辺視察(バス)

10月24日(木) ポカラ市内視察～ルンビニへ移動

10月25日(金) ルンビニ市内視察、航空機にてカトマンズへ

10月26日(土) ヒマラヤ環境に関するセミナー、カトマンズ市内視察

参加者：7名

8) ネパール調査報告会(主催)

日時：平成26年1月7日(火) 15:00～17:15

場所：愛媛大学工学部校友会館 2階サロン

内容：

①ネパールの道路施設の現状と考察 (株)第一コンサルタンツ 矢田久康、谷脇弘規

②チャイナロードの地すべりについて 応用地質(株) 田中敏彦

③落石防護網の研究事例 愛媛大学理工学研究科 木下尚樹

④愛媛大学ネパール防災研究活動報告 ～過去10年間を振り返って～

愛媛大学理工学研究科 ネットラ バンダリ

参加者：26人

4. 支部委員会

(1) 地盤地震防災研究委員会

1) 第9回委員会

日時：平成25年6月7日(金) 15:00～17:00

場所：サンポートホール高松 52会議室

議題：①北上川堤防橋浦地区解析中間報告

②第2期委員会体制

参加数：11名

2) 現地見学会

日時：平成 25 年 8 月 22 日（木）～23 日（金）

見学場所：石巻市・新北上川堤防

見学内容：新北上川下流域の両岸の液状化対策現場視察

参加者：15 名

3) 第 10 回委員会

日時：平成 25 年 10 月 25 日（金）10：00～12：00

場所：香川国際交流会館 第 3 会議室

議題：①北上川堤防橋浦地区解析中間報告

②今後の活動内容

参加者：22 名

4) 液状化解析の理論に関する講習会

日時：平成 25 年 12 月 6 日（金）13：00～17：00，7 日（土）9：00～12：00

場所：大歩危祖谷阿波温泉あわの抄 会議室（徳島県三好市池田町）

講師：徳島大学 教授 渦岡良介

参加者：25 名

5) 第 11 回委員会

日時：平成 26 年 1 月 10 日（金）14：00～17：00

場所：サンポート高松 51 会議室

議題：①活動報告

高知グループ，徳島グループ

②今後の活動内容

参加者：22 名

第2号議案 平成25年度 支部収支決算報告(案)

(円)

四国支部（平成25年度）

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	707,450	255,000	0	0	962,450	0	962,450
調査研究・基準事業収益（公2）	0	707,450	0	0	0	707,450	0	707,450
学術講演会収益	0	55,000	0	0	0	55,000	0	55,000
見学会収益	0	45,000	0	0	0	45,000	0	45,000
技術研究発表会収益	0	282,840	0	0	0	282,840	0	282,840
研究会助成収益	0	225,062	0	0	0	225,062	0	225,062
研究事業収益	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
技術指導収益	0	49,548	0	0	0	49,548	0	49,548
技術推進事業収益（公3）	0	0	255,000	0	0	255,000	0	255,000
講習会収益	0	0	255,000	0	0	255,000	0	255,000
② 雑収益	0	0	0	0	85,708	85,708	85,708	171,416
受取利息	0	0	0	0	538	538	538	1,076
雑収益	0	0	0	0	85,170	85,170	85,170	170,340
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	602,000	602,000	1,118,000	1,720,000
本部交付金	0	0	0	0	602,000	602,000	1,118,000	1,720,000
経常収益計	0	707,450	255,000	0	687,708	1,650,158	1,203,708	2,853,866
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,562,803	286,951	12,020	0	1,861,774	0	1,861,774
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,562,803	0	0	0	1,562,803	0	1,562,803
学術講演会費	0	55,247	0	0	0	55,247	0	55,247
見学会費	0	65,592	0	0	0	65,592	0	65,592
技術研究発表会費	0	289,614	0	0	0	289,614	0	289,614
研究会助成金支出	0	1,025,062	0	0	0	1,025,062	0	1,025,062
研究事業支出	0	77,740	0	0	0	77,740	0	77,740
技術指導支出	0	49,548	0	0	0	49,548	0	49,548
技術推進事業費（公3）	0	0	286,951	0	0	286,951	0	286,951
講習会費	0	0	219,464	0	0	219,464	0	219,464
海外調査および国際セミナー・報告会	0	0	67,487	0	0	67,487	0	67,487
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	12,020	0	12,020	0	12,020
表彰事業	0	0	0	12,020	0	12,020	0	12,020
② 管理費	0	0	0	0	0	0	1,041,708	1,041,708
備人費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会費	0	0	0	0	0	0	53,656	53,656
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	190,100	190,100
通信費	0	0	0	0	0	0	58,450	58,450
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	51,450	51,450
HP管理費	0	0	0	0	0	0	63,000	63,000
雑費	0	0	0	0	0	0	225,052	225,052
経常費用計	0	1,562,803	286,951	12,020	0	1,861,774	1,041,708	2,903,482
当期経常増減額	0	△ 855,353	△ 31,951	△ 12,020	687,708	△ 211,616	162,000	△ 49,616
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 855,353	△ 31,951	△ 12,020	687,708	△ 211,616	162,000	△ 49,616
一般正味財産期首残高								6,999,613
一般正味財産期末残高								6,949,997
II 指定正味財産増減の部								0
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,949,997

四国支部（平成25年度）

（円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 事業収益	962,450	1,196,244	△ 233,794
調査研究・基準事業収益（公2）	707,450	1,025,244	△ 317,794
学術講演会収益	55,000	0	55,000
見学会収益	45,000	76,325	△ 31,325
技術研究発表会収益	282,840	203,870	21,192
研究会助成収益	225,062	745,049	△ 462,209
技術指導収益	49,548	0	49,548
自然災害の調査・研究事業収益	50,000	0	50,000
技術推進事業収益（公3）	255,000	171,000	84,000
講習会収益	255,000	171,000	84,000
② 雑収益	171,416	159,662	11,754
受取利息	1,076	1,082	△ 6
雑収益	170,340	158,580	11,760
③ 他会計からの繰入額	1,720,000	1,915,186	△ 195,186
本部交付金	1,720,000	1,710,000	10,000
7AYGECより繰入金	0	205,186	△ 205,186
経常収益計	2,853,866	3,271,092	△ 417,226
（2）経常費用			
① 事業費	1,861,774	2,131,329	△ 269,555
調査研究・基準事業費（公2）	1,562,803	1,900,509	△ 337,706
学術講演会費	55,247	11,670	43,577
見学会費	65,592	93,650	△ 28,058
技術研究発表会費	289,614	220,658	68,956
技術指導費	49,548	0	49,548
受託事務手数料	0	0	0
研究会助成金支出	1,025,062	1,545,049	△ 519,987
自然災害の調査・研究事業支出	77,740	29,482	48,258
技術推進事業費（公3）	286,951	225,000	61,951
講習会費	219,464	225,000	△ 5,536
海外調査および国際セミナー・報告会	67,487	0	67,487
表彰関連事業（公4）	12,020	5,820	6,200
表彰事業	12,020	5,820	6,200
② 管理費	1,041,708	1,045,040	△ 3,332
備入費	400,000	400,000	0
会議費	53,656	48,081	5,575
旅費・交通費	190,100	134,620	55,480
通信費	58,450	53,630	4,820
印刷費製本費	51,450	44,100	7,350
HP管理費	63,000	60,000	3,000
雑費	225,052	304,609	△ 79,557
経常費用計	2,903,482	3,176,369	△ 272,887
当期経常増減額	△ 49,616	94,723	△ 144,339
2. 経常外増減の部			
（1）経常外収益	0	0	0
（2）経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 49,616	94,723	△ 144,339
一般正味財産期首残高	6,999,613	6,904,890	94,723
一般正味財産期末残高	6,949,997	6,999,613	△ 49,616
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,949,997	6,999,613	△ 49,616

平成26年4月3日

監査報告書

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

支部長 長谷川 修一 殿

公益社団法人 地盤工学会 四国支部

監事 石城 猛 

監事 紙田 直志 

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度における
会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関する報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

2 監査結果

- (1) 平成25年度一般会計の正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以 上

第3号議案 平成26年度 支部役員(案)

平成26年度 地盤工学会四国支部役員

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支 部 長	渦 岡 良 介	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7345 FAX 088-656-7345
副支部長	藤 本 秀 勝	西日本高速道路(株) 四国支社 副支社長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-823-2111 FAX 087-826-3057
"	岡 村 未 対	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9820 FAX 089-927-9820
"	安 藤 進	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
顧 問	三 浦 真 紀	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	片 山 光 也	(独)水資源機構吉野川局長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	別 枝 修	建設コンサルタンツ協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2205
"	噂 耕 司	四国地質調査業協会 理事長 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 青葉工業(株) 代表取締役 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120 TEL 087-862-8222 FAX 087-837-1807
"	矢 田 部 龍 一	愛媛大学 理事・副学長 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9817
"	長谷川 修 一	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	末 澤 等	四国電力(株) 常務取締役 〒760-0033 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-826-1804
評議員	笹 原 克 夫	高知大学 教育研究部自然科学系農学部 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5341 FAX 088-864-5341
"	岡 林 宏二郎	高知工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 〒783-8508 南国市物部乙200-1	TEL 088-864-5589 FAX 088-864-5589
"	山 中 稔	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2158 FAX 087-864-2188
"	小 竹 望	香川高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3927 FAX 087-869-3929
"	吉 村 洋	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科建設コース 教授 〒774-0017 阿南市見能林町青木265	TEL 0884-23-7186 FAX 0884-23-7199
"	石 井 一 生	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	東 島 義 郎	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
"	小 林 稔	徳島県 県土整備部長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	小 野 裕 幸	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
"	田 村 弘 文	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
"	奥 谷 正	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9811 FAX 088-823-9263
"	江 川 元 幾	西日本高速道路(株) 四国支社 建設事業部 防災担当部長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1900 FAX 087-826-3057
"	尾 崎 重 浩	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループリーダー 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 087-821-5061 FAX 087-825-3177

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
評議員	須賀 幸一	(株)芙蓉コンサルタント 技術本部長 〒790-0063 松山市辻町2-38	TEL 089-924-1313 FAX 089-923-5717
	斎藤 章彦	(株)四国総合研究所 土木技術部上席研究員 〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	TEL 087-843-8111 FAX 087-887-0004
"	古野 隆久	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 (株)ファルコン 代表取締役 〒770-8056 徳島市間屋町43	TEL 087-821-4367 FAX 087-862-5120 TEL 088-602-4500 FAX 088-623-0002
"	永野 敬典	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 (株)相愛 代表取締役 〒780-0002 高知市重倉266-2	TEL 087-821-4367 FAX 087-862-5120 TEL 088-846-6700 FAX 088-846-6711
"	辻 和秀	建設コンサルタンツ協会 四国支部 理事 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)エイト日本技術開発四国支社 支社長 〒790-0054 松山市空港通2-9-29	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 089-971-6511 FAX 089-973-3132
"	武田 信一	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株) 四国支店 支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
"	川崎 邦彦	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 西松建設(株) 四国支店 支店長 〒760-8503 高松市番町3-8-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-1471 FAX 087-837-7505
"	梅津 誠二	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-8533 高松市寿町2-4-5	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-4300 FAX 087-822-6614
"	吉見 和行	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部・運営委員 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)奥村組 四国支店 支店長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-851-9008 FAX 087-821-1314
"	東 洸 等	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 (株)大林組 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-831-7121 FAX 087-837-3650
"	森田 紘一	一般社団法人香川県建設業協会 会長 〒760-0025 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-7919 FAX 087-821-4079
支部監事	紙田 直充	西日本高速道路(株) 四国支社 建設事業部 技術計画課長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1896 FAX 087-826-3057
"	岩原 廣彦	香川大学危機管理研究センター副センター長・客員教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2546 FAX 087-864-2549
幹事長	蔣 景彩	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7345 FAX 088-656-7345
事務局長	神田 幸正	(株)ビュー設計 チーフエンジニア 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261番地	TEL 088-665-7360 FAX 088-665-7361
事務局員	中島 淳子	愛媛大学 工学部環境建設工学科 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9817
幹事	野々村 敦子	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2146 FAX 087-864-2188
"	神田 幸正	(株)ビュー設計 チーフエンジニア 〒771-0136 徳島市川内町平石古田261番地	TEL 088-665-7360 FAX 088-665-7361
"	安原 英明	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9853 FAX 089-927-9817
"	原 忠	高知大学教育研究部自然科学系農学部門 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5162 FAX 088-864-5162

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
幹 事	向 谷 光 彦	香川高等専門学校 建設環境工学科 准教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3921 FAX 087-869-3929
"	後 藤 文 男	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-811-8308 FAX 087-811-8408
"	平 野 智	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-811-8331 FAX 087-811-8431
"	遠 藤 守 彦	徳島県 県土整備部 建設管理課 技術課長補佐 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2620 FAX 088-621-2864
"	村 尾 忠 弘	香川県 土木部技術企画課課長補佐 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-832-3521 FAX 087-806-0220
"	木 村 圭 策	愛媛県 土木部管理局土木管理課技術企画室 主幹 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-912-2653
"	弘 嶋 浩 明	高知県 土木部防災砂防課課長補佐 〒780-8570 高知市丸ノ内2-1-20	TEL 088-823-9825 FAX 088-823-9263
"	駒 田 達 広	(独)水資源機構吉野川局 施設管理課長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	内 田 純 二	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部 技術計画課長代理 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-823-2140 FAX 087-826-3057
"	井 桜 政 泰	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループ 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 050-8801-4615 FAX 087-821-3177
"	田 村 栄 治	(株)四電技術コンサルタント 地質部副部長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2290 FAX 087-887-2205
"	香 川 年 市	青葉工業(株) 取締役営業所長 〒760-0074 高松市桜町1丁目17-3	TEL 087-862-8223 FAX 087-837-2807
"	尾 崎 美 伸	一般社団法人日本建設業連合会 四国支部 公共工事委員会委員長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 鹿島建設㈱ 四国支店 営業部長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176 TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
(徳島県) 地域幹事	笠 井 博 之	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課長 〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	TEL 088-654-9611 FAX 088-654-9643
"	田 村 節 雄	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所沿岸防災対策官 〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-14	TEL 0885-32-3357 FAX 0885-35-0010
"	増 田 俊 二	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長 〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	TEL 088-626-2021 FAX 088-626-5691
"	小 林 昌 弘	(株)基礎建設コンサルタント 技術部技術課長 〒779-3120 徳島市国府町南岩延883-92-5330	TEL 088-642-5330 FAX 088-642-4216
"	大 藪 剛 士	応用地質(株) 四国支社徳島支店 主担 〒770-0021 徳島市佐古一番町10番2号G2ビル3階	TEL 088-653-0125 FAX 088-653-0124
"	藤 川 誠 次	四国建設コンサルタント(株) 技術三部設計1課主査 〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	TEL 088-683-3393 FAX 088-683-3563
(高知県) 地域幹事	壬 生 恵 庫	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長 〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	TEL 088-832-0779 FAX 088-833-5357
"	野 本 啓 介	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長 〒781-0113 高知市種崎874	TEL 088-847-3512 FAX 088-837-3001
"	山 本 頼 男	高知市 都市建設部長 〒780-8571 高知市本町5-6-13	TEL 088-823-9216 FAX 088-823-9038
"	陣 内 龍太郎	応用地質(株) 高知支店 支店長 〒780-8010 高知市棧橋通4-16-42 日電工高知ビル2F	TEL 088-833-8811 FAX 088-832-9501
"	奥 村 昌 史	(株)第一コンサルタンツ 〒781-8122 高知市高須新町3-1-5	TEL 088-884-1330 FAX 088-884-3783
"	岡 崎 健一郎	(株)轟組 部長(事業計画・防災担当) 〒780-8006 高知市萩町1丁目5番13号	TEL 088-834-1016 FAX 088-834-1028
"	尾 川 七 瀬	(株)技研製作所 実証科学課 〒781-5195 高知市布師田3948-1	TEL 088-803-1256 FAX 088-803-1266
"	中 根 久 幸	(株)地研 〒780-0974 高知市円行寺25番地	TEL 088-822-1535 FAX 088-820-7326

役 職	氏 名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
(愛媛県)	小 林 範 之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 准教授	TEL 089-946-9929
地域幹事		〒790-0905 松山市樽味3-5-7	FAX 089-946-9929
地域幹事	川 口 悦 史	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港工事事務所企画調整課長	TEL 089-951-0162
		〒791-8058 松山市海岸通2426-1	FAX 089-946-8010
"	篠 原 俊 憲	カナン地質(株) 取締役会長	TEL 089-993-6711
		〒790-0924 松山市南久米町545-4	FAX 089-993-6733
"	松 田 久 和	(株)シアテック 土木部調査設計二課 副課長	TEL 0897-37-2796
		〒792-0003 新居浜市新田町3-1-39	FAX 0897-32-5979
(香川県)	橘 高 豊 明	(株)奥村組四国支店 土木部長	TEL 087-851-9008
地域幹事		〒760-0020 高松市錦町1-8-41	FAX 087-821-1314
"	田 村 彰 三	田村ボーリング(株) 専務取締役	TEL 087-833-7878
		〒760-0007 高松市中央町6-19-21	FAX 087-834-4795
"	木 下 博 久	復建調査設計(株)四国支社 地盤技術課長	TEL 087-826-1913
		〒760-0020 高松市錦町1-4-40	FAX 087-826-1917
"	植 田 昌 宏	(株)チェリーコンサルタント 調査環境部長	TEL 087-834-5111
		〒760-0037 高松市栗林町3-7-23	FAX 087-831-3962

第4号議案 平成26年度 支部事業計画(報告)

平成 26 年度 支部事業計画

1. 総会, 役員会等

(1) 支部総会

第 1 回 平成 26 年 4 月 25 日 (金) 16:00～17:00 高松市 (高松テルサ)

- ① 平成 25 年度 特別会員表彰
- ② 平成 25 年度 支部事業報告
- ③ 平成 25 年度 支部収支決算報告, 監査報告
- ④ 平成 26 年度 支部役員 (案)
- ⑤ 平成 26 年度 支部事業計画 (案)
- ⑥ 平成 26 年度 支部収支予算 (案)

(2) 評議員会

第 1 回 平成 26 年 4 月 25 日 (金) 14:30～15:40 高松市 (高松テルサ)

- ① 平成 26 年度 支部役員 (案)
- ② 平成 25 年度 支部事業報告 (案)
- ③ 平成 25 年度 支部収支決算報告, 監査報告 (案)
- ④ 平成 25 年度 特別表彰 永年正会員感謝状
- ⑤ 平成 26 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 26 年度 支部収支予算

第 2 回 平成 27 年 2 月 (予定)

- ① 平成 27 年度 支部役員 (案)
- ② 平成 27 年度 支部事業計画 (案)
- ③ 平成 27 年度 支部収支予算 (案)
- ④ 平成 26 年度 支部事業報告
- ⑤ 平成 26 年度 支部決算見込み報告
- ⑥ その他

(3) 幹事会

第1回 平成26年6月

- ①平成26年度事業計画
- ②各幹事からの報告等

第2回 平成26年10月

- ①事業実施報告および実施計画

第3回 平成27年2月

- ①平成26年度 支部事業・決算見込みの報告
- ②平成27年度 支部事業計画・収支予算の審議

2. 支部主催事業

(1) 講習会 担当：四国電力

日時：平成26年9月頃
場所：高松市

(2) 学術講演会（土木学会四国支部と主催） 担当：土木学会四国支部

日時：未定
場所：未定

(3) 技術研究発表会 担当：徳島大学

日時：平成26年11月13日(木)～14日(金)
場所：神山温泉 ホテル四季の里（徳島県名西郡神山町神領字本上角 80-2）

(4) 見学会 担当：徳島大学

日時：未定
場所：徳島県内

3. 支部共催事業

(1) 国際シンポジウム Geohazards

日時：平成26年11月20～21日
場所：ネパール、カトマンズ市
セッション：地震、地すべり・洪水、地盤沈下、その他（地盤災害、災害マネジメント等）
現場見学会：11月22～23日 カトマンズ～ボカラ間の地すべりや斜面災害の見学

4. 各県地盤工学会

(1) 徳島県地盤工学会

- 1) 平成 26 年度 地盤と防災・環境に関するシンポジウム

日時：平成 27 年 1 月予定

- 2) 第 1 回 特別講演会

日時：未定

- 3) 第 2 回 特別講演会

日時：未定

- 4) 現場見学会

日時：未定

- 5) 勉強会 (or 準備会)

日時：未定

- 6) 徳島県幹事会

日時：平成 26 年 6 月予定

(2) 香川県地盤工学会

- 1) 第1回学術講演会

日程：平成26年6月予定

- 2) 第2回学術講演会

日程：平成26年11月予定

- 3) セミナー

日程：随時開催

- 4) 学術交流会

3 月上旬および下旬に計 2 回開催 (香川高専)

(3) 高知県地盤工学会

1) 平成26年度高知県地盤工学会 第1回幹事会

日時：平成26年4月17日

会場：高知大学農学部物部キャンパス

議題 1.平成26年度高知県地盤工学会役員について
2.平成25年度高知県地盤工学会会計報告
3.平成26年度高知県地盤工学会事業計画

2) 第3回高知県地盤工学会「若手の会」(勉強会)

日時：平成26年6月

場所：未定

内容：若手技術者が主体となり行う勉強会(内容詳細は未定)

3) 第35回(平成26年度) 高知県地盤工学会 講演会

日時：平成26年7月

会場：未定

内容：港湾事業の耐震化について

4) 第4回高知県地盤工学会「若手の会」(プレ発表会)

内容：四国支部研究発表会に向けてのプレ発表会

日時：平成26年11月

会場：未定

内容：四国支部研究発表会に向けてのプレ発表会

5) 第36回(平成26年度) 高知県地盤工学会 講演会

日時：平成26年12月

会場：未定

内容：未定

6) 平成26年度高知県地盤工学会 第2回幹事会

日時：平成27年2月

会場：未定

議題：1.平成26年度高知県地盤工学会事業報告
2.平成27年度高知県地盤工学会事業計画

(4) 愛媛県地盤工学会

1) 第1回学術講演会

日時：平成26年5月頃

場所：愛媛大学

2) 第2回学術講演会

日時：平成26年12月

場所：愛媛大学

5. 支部委員会

(1) 地盤地震防災研究委員会（委員長：渦岡良介（徳島大学））

1) 第12回委員会

日時：平成26年7月

場所：未定

2) 第13回委員会

日時：未定

場所：未定

2) 第14回委員会

日時：未定

場所：未定

(2) 四国地域地盤環境問題研究会（委員長：矢田部龍一（愛媛大学））

災害発生等の必要に応じて開催

第5号議案 平成26年度 支部収支予算(報告)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	公 3	公 4	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 事業収益	0	300,000	210,000	0	0	510,000	0	510,000
調査研究・基準事業収益（公2）	0	300,000	0	0	0	300,000	0	300,000
学術講演会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0
見学会収益	0	40,000	0	0	0	40,000	0	40,000
技術研究発表会収益	0	260,000	0	0	0	260,000	0	260,000
研究事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0
技術推進事業収益（公3）	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
講習会収益	0	0	210,000	0	0	210,000	0	210,000
② 雑収益	0	0	0	0	92,500	92,500	92,500	185,000
受取利息	0	0	0	0	300	300	300	600
雑収益	0	0	0	0	90,000	90,000	90,000	180,000
③ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	588,000	588,000	1,092,000	1,680,000
本部交付金	0	0	0	0	588,000	588,000	1,092,000	1,680,000
経常収益計	0	300,000	210,000	0	680,500	1,190,500	1,184,500	2,375,000
(2) 経常費用								
① 事業費	0	1,240,000	1,112,513	15,000	0	2,367,513	0	2,367,513
調査研究・基準事業費（公2）	0	1,240,000	0	0	0	1,240,000	0	1,240,000
学術講演会費	0	30,000	0	0	0	30,000	0	30,000
見学会費	0	70,000	0	0	0	70,000	0	70,000
技術研究発表会費	0	240,000	0	0	0	240,000	0	240,000
研究会助成金支出	0	800,000	0	0	0	800,000	0	800,000
研究事業支出	0	100,000	0	0	0	100,000	0	100,000
技術推進事業費（公3）	0	0	1,112,513	0	0	1,112,513	0	1,112,513
講習会費	0	0	240,000	0	0	240,000	0	240,000
国内・海外調査およびセミナー・報告会	0	0	872,513	0	0	872,513	0	872,513
表彰関連事業費（公4）	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
表彰事業	0	0	0	15,000	0	15,000	0	15,000
② 管理費	0	0	0	0	0	0	880,000	880,000
備人費	0	0	0	0	0	0	400,000	400,000
会議費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
旅費・交通費	0	0	0	0	0	0	150,000	150,000
通信費	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
印刷費製本費	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000
HP管理費	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
雑費	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
経常費用計	0	1,240,000	1,112,513	15,000	0	2,367,513	880,000	3,247,513
当期経常増減額	0	△ 940,000	△ 902,513	△ 15,000	680,500	△ 1,177,013	304,500	△ 872,513
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 940,000	△ 902,513	△ 15,000	680,500	△ 1,177,013	304,500	△ 872,513
一般正味財産期首残高								6,949,997
一般正味財産期末残高								6,077,484
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								0
指定正味財産期末残高								0
III 正味財産期末残高								6,077,484

【参考資料】

① 平成 26 年度以降の事業予定

② 四国支部規定等

- ・ 地盤工学会四国支部規程 (平成 22 年 4 月 21 日制定)
- ・ 地盤工学会四国支部特別表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 23 年 4 月 26 日改定)
- ・ 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程
(平成 25 年 11 月 23 日改定)
- ・ 旅費、謝金等支払い内規 (平成 18 年 2 月 22 日評議員会了承)
- ・ 会計管理体制 (平成 12 年 9 月 25 日本部提出)
- ・ 各県地盤工学会研究会助成内規 (平成 17 年 4 月 15 日評議員会了承)

H 2 6 年度以降の事業予定

・事務局等の分担履歴と予定

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	建設フェア	主要事業
H 2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H.1・・・30周年(四国地建)
H 3	四国電力	愛媛大学					
H 4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H 5	香川大学	高知大学					
H 6	徳島大学				土木学会		
H 7	香川大学	愛媛大学					
H 8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H 9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学		
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H21	NEXCO	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		50周年記念事業
H22	愛媛大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		全国大会(愛媛大学)
H23	四国電力	香川大学	NEXCO	香川大学	高知高専		土木学会全国大会(愛媛大学)
H24	四国地整	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H25	香川大学	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H26	徳島大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		
H27	NEXCO	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学		
H28	愛媛大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H29	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H30	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		

公益社団法人地盤工学会四国支部規程

(平成 22 年 4 月 21 日制定)

第 1 章 総 則

(支部の名称及び所在地)

第 1 条 公益社団法人地盤工学会（以下「学会」という。）定款第 3 条に基づき四国地区に支部を設け、公益社団法人地盤工学会四国支部（以下「支部」という。）といい、事務局を四国地区に置く。

(支部規程の制定)

第 2 条 支部の運営に関しては、学会規則（以下「規則」という。）第 52 条の規定により、学会定款（以下「定款」という。）及び規則に定めるもののほか、この規程に定めるところによる。

(支部区域)

第 3 条 支部は、規則第 44 条に示す四国地区（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）在住の会員をもって組織する。

(地域会等)

第 4 条 支部は、支部発展のため各県に地盤工学会研究会を設置する。

(事業)

第 5 条 支部は、規則第 46 条に定める範囲において、定款第 5 条に定める事業のうち、支部に関する事業を行う。

第 2 章 支部役員

(支部役員)

第 6 条 支部に、次の支部役員を置く。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	3 名
評 議 員	若干名
支 部 監 事	2 名
幹 事 長	1 名
幹 事	若干名

2 支部に顧問を置くことができる。

(支部役員の選任)

第 7 条 支部役員は、評議員会が支部内の正会員のうちから推薦し、支部総会の決議によって選任する。そのうち、支部長については、正会員から選任しなければならない、その余の者は特段の事情があれば正会員以外から選任することができる。

2 支部役員が任期中に欠けたときは、次期定例支部総会までの残任期間中に限り、欠員としてその後任者を評議員会において選任することができる。

3 顧問は、支部長が任免する。

(支部役員の任期)

第 8 条 支部役員の任期は 1 年とし、支部役員は再任を妨げない。

2 前項の任期 1 年とは、定例支部総会から翌年の定例支部総会終結時までとする。

3 支部役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

4 顧問の任期は 1 年とする。ただし、再任を妨げない。

5 欠員として選任された支部役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(支部役員等の職務)

第 9 条 支部長は、支部を代表し、その会務を総理する。

2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故ある時には、その職務を代行する。

3 評議員は、支部に関する重要事項を評議する。

4 支部監事は、支部の会計及び支部役員の業務執行状況等を監査する。

5 幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

6 顧問は、支部役員の諮問に応ずる。

(支部役員の解任)

第10条 支部役員は、支部総会の決議によって解任することができる。

(支部役員の報酬)

第11条 支部役員は、無報酬とする。

第3章 支部代議員

(支部代議員候補者の選考)

第12条 支部は、定款第7条及び代議員選挙規則により、支部代議員候補者の選考を行う。

2 支部代議員候補者は、評議員会にて選考する。

第4章 会 議

(会議)

第13条 支部の会議は、支部総会、評議員会、幹事会及び支部委員会とする。

(支部総会)

第14条 支部総会は、規則第47条の規定により、支部に所属する会員をもって構成する。

2 支部長は、毎事業年度終了後1ヶ月以内に定例支部総会を招集する。また、必要に応じて臨時支部総会を招集する。

3 支部総会の議長は、支部長がこれに当たる。

4 支部総会は、次の事項について決議する。ただし、支部総会の議事は、予め評議員会の承認を必要とする。

- (1) 支部役員の選任または解任
- (2) 事業報告及び決算報告の承認
- (3) 支部規程その他の規程の変更
- (4) その他、評議員会で認めた事項

5 支部総会は、支部に所属するすべての会員の委任状を含む20分の1以上の出席をもって成立する。

6 委任状は、当該議事につき、書面をもって、支部総会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

7 支部総会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては、出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(評議員会)

第15条 評議員会は、評議員をはじめとする支部役員をもって構成し、議長は支部長がこれに当たる。

2 評議員会のうち、1回は毎事業年度開始1ヶ月前までに支部長が招集する。ただし、支部長が必要と認めた場合には、招集しなければならない。

3 評議員会は、次の事項を審議する。

- (1) 事業報告及び決算
- (2) 事業計画及び予算
- (3) 規程等の制定及び変更
- (4) 第7条に基づく支部役員の推薦または選出
- (5) その他、会務運営上の事項

4 評議員会は、評議員の委任状を含む過半数の出席をもって成立する。

5 委任状は、当該議事につき、書面をもって、評議員会における他の構成員に委任をし、または予め示された議案の賛否についての意思表示をすることができる。この場合はその者は出席者とみなす。

6 評議員会の議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数のときは議長の決定による。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

(幹事会)

第16条 幹事会は、幹事長及び幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。

2 幹事会は、年3回程度開催し、幹事長が招集する。

3 幹事会は、評議員会に付議する事業計画、その他会務運営等に関する事項を策定する。

(支部委員会)

第 17 条 支部長は、調査・研究のために必要があるときは、支部委員会を設置することができる。

第 5 章 会 計

(支部の事業年度)

第 18 条 定款第 43 条に基づき、支部の事業年度は、毎年 4 月 1 日より始まり翌年 3 月 31 日に終る。

(支部の経費)

第 19 条 規則第 51 条に基づき、支部の経費は、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(支部の事業計画及び収支予算)

第 20 条 支部の事業計画及び収支予算は、毎事業年度開始 1 ヶ月前までに評議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届出て、理事会の承認を得なければならない。

2 支部長は、理事会が承認した事業計画及び収支予算を定例支部総会に報告しなければならない。

(支部の事業報告及び収支決算)

第 21 条 支部の事業報告及び収支決算は、毎事業年度終了後、支部監事の監査を受けた上で、評議員会の議決を経て定例支部総会の承認を受けなければならない。

2 支部長は、毎事業年度終了後 1 ヶ月以内に事業報告及び収支決算報告を会長に届出て、理事会の決議を経て総会の承認を得なければならない。

第 6 章 支 部 表 彰

第 22 条 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。

第 7 章 支部規程の改廃

第 23 条 この規程を改廃しようとするときは、評議員会の議決を経て、支部総会の承認を得なければならない。

2 支部長は、この規程の変更を行う場合、予め理事会の承認を得なければならない。

付 則

この規程は、平成 22 年 11 月 1 日から施行する。

地盤工学会四国支部特別表彰規程

平成11年4月21日制定
平成20年1月8日改定
平成23年4月26日改定
平成25年11月23日改正

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第22条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(受賞対象者)

第2条 受賞対象者は以下のとおりとする。

- (1) 地盤工学会の個人会員であること。
- (2) 大学および高等専門学校等の教員でないこと。
- (3) 過去5年以内に受賞していないこと。
- (4) 当該年度の4月1日時点で40歳未満であること。
- (5) 発表者数の概ね10%程度の人数を表彰する。

(審査方法)

第3条 賞を選考するために、論文審査委員会（以下「委員会」という）を設置する。

2. 委員会は、委員長および委員4名の計5名で構成する。委員長は幹事長とし、委員は幹事長が選任する。採点委員は、委員会が選任する。
3. 口頭発表は3名以上の採点委員で採点を行う。
4. 採点項目は、(1) 発表内容、(2) 発表技術、(3) 発表時間、(4) 質疑応答の4項目とする。
5. 採点委員は、採点結果を委員会に提出する。委員会は、提出された採点結果を基に受賞者を選出する。
6. 委員長は、支部幹事会に受賞者を報告する。

(表彰方法)

第4条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(附則)

この規程は、平成25年11月23日より施行する。

地盤工学会四国支部年次表彰規程

平成20年1月8日制定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第22条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

(表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞という)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として四国支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

(1) 技術賞

四国地域で実施され、四国支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

(2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

(3) 研究・論文賞

四国支部および各県の地盤工学研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

(4) 功績賞

① 地盤工学会四国支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等

② 地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

③ 地盤工学会四国支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として四国支部に所属する会員または特別会員とする。

(表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

(応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

(審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

(表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

(附則)

第12条 この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成11年4月21日制定

平成20年1月8日改定

平成23年4月26日改定

(目的)

第1条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第22条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

(選考及び賞の決定方法)

第2条 賞を選考するために、3名以上の採点委員で以下に掲げる項目について採点を行い、採点結果をもとに論文審査委員会が選考を行うものとする。

2. 採点項目は以下のとおりとする。なお、採点項目は、論文審査委員会が変更することができる。
(1) 発表内容、(2) 発表技術、(3) 発表時間、(4) 質疑応答

(採点委員および論文審査委員会)

第3条 採点委員は、論文審査委員会が指名する。

2. 論文審査委員会は、支部幹事長及び支部幹事の5名で構成する。

(表彰方法)

第4条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

(附則)

この規程は、平成23年4月26日より施行する。

地盤工学会四国支部旅費、謝金等支払い内規

1. 謝金：本部内規に準じて支給する（平成10年11月30日理事会暫定改正）
（ ）はH10年度

項目	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに	2,500 円
	講演時間60分を越え10分増すごとに	2,000 円
	（講演時間 1 時間あたり ）	(14,000 円)
特別講師	講演時間60分まで	15,000 円
	講演時間60分を越え30分増すごとに	10,000 円
	（講演時間1時間あたり ）	(30,000 円)
原稿料	会誌1ページ相当（ワープロ仕上げ）	2,500 円
	講習会テキスト書き下ろし原稿用紙1枚	(2,400 円) 920 円
アルバイト	1日あたり	7,000 円
		(同 上)
	1時間当たり	900 円
		(同 上)

2. 旅費：本部旅費支給規程(H15. 12. 19改正に準じる)

・原則として要求がある場合に支給する。

① 交通費

・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。

ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。

・勤務個所および会場から最寄りのJR駅まで、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は一律1,000円とする。

・航空機利用の場合は航空運賃を支給する。この場合、空港の最寄りのJR駅から空港までの交通機関利用料金一律1,000円、東京空港と会場最寄駅までの交通機関利用料金一律1,000円とする。

・主な地域からの例（通常期の場合、繁忙期、閑散期は別途考慮）

高松での幹事会等への出席

・高松市内から 2,000円（市内交通費）

・高松市外から 3,000円

②日 当：1,800円（片道120km以上の場合）

③宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

（平成18年2月22日評議員会承認）

地盤工学会四国支部会計管理体制〔留意事項〕

1. 支部交付金は支部が開設した専用口座を設けて対応する。
2. 支部会計の通帳および現金を保管する場所は、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
3. 通帳と印鑑、カードは別々に保管する。
4. 通帳には印を押さない。もしくは押さないようにしてもらう。
5. カードには暗証番号を付記しない。
6. カードは原則、支部会計責任者が保持し、保管する場合には前記、通帳・現金の保管場所と同様、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
7. 支部会計責任者は定期的に口座の残金を確認する。

(平成12年9月25日本部提出書類より)

各県地盤工学会助成内規

1. 助成方法
各県地盤工学会の事業を行う費用の一部を負担する。負担額は各年度の事業計画に計上する。
2. 使途
助成金は、各県地盤工学会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用にすることができる。
3. 報告
各地盤工学会は、地盤工学会四国支部に事業内容の報告を会計年度中に行う。

(平成17年4月15日評議員会承認)